

日本菌学会 国際シンポジウム開催のお知らせ

日本菌学会では、海外の菌類研究者と会員の交流、情報交換の機会を増やし、また本学会の国際情報発信力を強化するため、基礎から応用まで精力的に活躍されている4人の著名な菌類研究者を海外からお招きし、国際シンポジウムを開催します。研究者、アマチュア、多様な立場の皆様方に振るってご参加下さいますようお願い致します。

1. 日 時 : 2016年3月13日 (日) 13:30~16:30

「Globalization of Mycology - Expectation of its future and the new MSJ

: 菌学のグローバル化、新たな日本菌学会の将来に向けて」

- Mycology in East Asia between its historical origin and present globalization: a preliminary outline
Dr. Roland Kirschner (Department of Life Sciences, National Central University, Taiwan)
東アジアにおける菌学の発祥とグローバル化の現況に関する序説
台湾国立中央大学、R.キルヒナー博士
- Phylogeny and evolution of the major clades of Amanitaceae
Dr. Zhu Liang Yang (Kunming Institute of Botany, Chinese Academy of Sciences, China)
テングタケ科主要クレードの系統と進化
中国科学院昆明植物研究所、Z-L.ヤン博士
- Tools and trends in modern mycology – IT, DNA, fungus and citizen scientists.
Dr. Henning Knudsen (the Natural History Museum, University of Copenhagen, Denmark)
現代の菌学のツールとトレンド: IT、DNA、菌類、市民科学者
デンマーク、コペンハーゲン大学自然史博物館: H.クヌドセン博士
- The echinocandin family of antifungal drugs – Biodiversity to biosynthesis
Dr. Gerald F. Bills (University of Texas, USA)
抗真菌剤エキノカンディンファミリー・生物多様性から生合成へ
アメリカ、テキサス大学: G.ビルズ博士

2 場 所 : 東京農業大学世田谷キャンパス アカデミアセンター地下1階 横井講堂

3 参加費 : 無料

【担当: 地域環境科学部 矢口行雄 (日本菌学会副会長)】